投票番号
9

日吉子ども会・沼津市子ども食育体験企画

■マグロの解体ショー

■野菜重さチャレンジ企画

事業のねらい

食を通じて通じて「**知る・見る・触れる・考える**」体験を提供し、健全な食習慣と地域への関心を育むことを目的とする。マグロ解体ショーと野菜重さチャレンジ企画をすることで、楽しみながら学べる体験型プログラムにより、**食への興味関心を高め、家庭や地域における食育の促進につなげる**

第２号様式

事　業　計　画　書

事　　業　　名	沼津市子ども食育イベント
実　施　場　所	沼津市大岡南小学校体育館
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 令和８年９月１日　～　令和８年 12 月 31 日

◎事業概要

※事業の概要を 100～200 字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

本事業は、沼津市在住の子どもを対象に、食を通じて「知る・見る・触れる・考える」体験を提供し、健全な食習慣と地域への関心を育むことを目的とする。会場は沼津市大岡南小学校体育館とし、専門職によるマグロ解体ショーを実施することで、水産業の現場や命をいただく大切さを学ぶ機会とする。また、野菜重さチャレンジ企画では、地元野菜を実際に手に取り、重さ当てゲームを通して旬や種類への理解を深める。楽しみながら学べる体験型プログラムにより、食への興味関心を高め、家庭や地域における食育の促進につなげる。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

近年、沼津市では少子化や地域コミュニティの希薄化により、子ども会に加盟する地域が減少し、子ども同士や保護者同士の交流の場が失われつつある。この状況を受け、従来の枠にとらわれない誰でも参加しやすいイベントを企画し、地域を越えた新たなつながりを生み出す必要性を感じた。本事業は食育を切り口に、子ども会活動の魅力を再発見し、参加意欲の向上と組織の活性化を図ることを目的とする。

◎実施内容

日　　程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12 月 31 日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。
９月上旬	① 事前準備・企画段階 ・ 実行委員会立ち上げ（主催者・子ども会関係者） ・ 役割分担決定（総括、会計、広報、運営、安全管理） ・ 会場（大岡南小体育館）利用申請 ・ マグロ業者・野菜提供先との打合せ ・ 企画内容詳細決定（タイムテーブル、安全対策
９月中旬～11 月上旬	②参加者募集チラシ作成 ・ 学校・子ども会・地域回覧で配布　広報沼津に募集要項掲載依頼 ・ 参加申込受付 ・ スタッフ人数確定
11 月中旬	③ 実施準備段階 ・ 最終打合せ（スタッフ全体） ・ 備品準備（テーブル、計量器、名札、掲示物） ・ 役割確認 ・進行係 ・安全管理係 ・受付係 ・記録係
11 月 29 日（当日）	④ イベント実施 大岡南小学校体育館 参加対象：沼津市在住の子ども・保護者 想定人数：子ども 50 名、スタッフ 15 名 ・ 受付・開会 ・ マグロ解体ショー ・ 野菜重さチャレンジ ・ まとめ・アンケート回収
12 月末	事業実績報告

◎事業効果

<table>
<tr><td colspan="4">※事業の実施により、期待される効果を記載してください。
本事業の実施により、子どもが実際に食材に触れ、見て学ぶ体験を通して、食の背景にある命の大切さや生産者の役割への理解が深まり、健全な食習慣の形成が期待される。また、学校区や子ども会の枠を越えた交流の場を創出することで、子ども同士や保護者同士のつながりが生まれ、地域コミュニティの活性化につながる。さらに、食育という身近で参加しやすいテーマを設定することで、子ども会活動への関心を高め、新規参加者の増加や組織再生のきっかけとなる効果が見込まれる。</td></tr>
<tr><td>成果指標</td><td>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。
成果指標（事業評価指標）

① 参加人数
参加者総数：300 名以上（子ども 200 名、保護者 100 名）

② 満足度指標（アンケート）
「とても楽しかった・楽しかった」と回答した割合：85%以上

③ 学習効果指標
「食への関心が高まった」と回答した児童の割合：75%以上

④ 地域交流指標
「他地域の参加者と交流できた」と回答した割合：70%以上

⑤ 子ども会活性化指標
イベント後 3 か月以内に
「子ども会活動への参加を検討した」と回答した家庭：40 世帯以上</td><td>指標の検証方法</td><td>※左記指標の検証方法を記載してください。

本事業の成果については、当日の参加受付時に人数を記録し、参加者総数を把握する。満足度・学習効果・地域交流・子ども会への関心については、イベント終了時にアンケートを実施し、回収・集計により数値化して評価する。アンケート結果は割合として整理し、設定した成果指標との達成状況を比較することで、事業効果を客観的に検証する。また、イベント後 3 か月以内にフォローアップアンケートを実施し、子ども会活動への関心や参加意向の変化について確認する。</td></tr>
</table>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的 必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。 本事業は、子どもを中心とした世代間交流を促進し、地域コミュニティのつながりを再構築することで、まちの活性化と魅力づくりに寄与する取り組みである。少子化や地域活動の縮小により、人と人が集う機会が減少する中、誰でも参加できる食育イベントを実施することは、地域に新たな交流の場を生み出し、不特定多数の市民に利益をもたらす。また、沼津の水産・農産資源を活用した内容とすることで、地域産業への理解と誇りを育み、将来的な地域愛着の形成にもつながる社会的意義の高い事業である。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。 本事業は、少子化や子ども会組織の衰退といった地域課題に対し、子どもを軸とした交流の場を創出することで、地域住民の参画を促す取り組みである。マグロ解体ショーでは沼津の水産業という地域資源を活用し、野菜重さチャレンジでは地元農産物に触れる機会を提供することで、地域の産業や特色を身近に感じられる内容とする。また、保護者や地域団体、事業者が運営に関わることで、多世代が協力する仕組みを構築し、単発イベントにとどまらない継続的な地域活動への発展が期待される
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。 本事業の特徴は、食育と地域コミュニティ再生を同時に実現する点にあり、単なる体験イベントではなく、子ども会組織の衰退という課題解決を目的に据えている点に独自性がある。マグロ解体ショーと野菜重さチャレンジという異なる要素を組み合わせ、見て学ぶ体験と参加型ゲームを融合させることで、年齢や関心の異なる子どもでも主体的に参加できる構成としている。また、学校区や既存組織の枠を越え、不特定多数の子どもを対象とすることで、新たな交流の形を創出する試みであり、従来の子ども会活動にはない開かれた仕組みを実践する点にチャレンジ性がある。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 本事業は、総事業費 45 万円のうち 30 万円を沼津市民間まちづくり活動支援事業補助金、残り 15 万円を日吉自治会からの日吉子ども会補助金により賄う計画であり、資金面の裏付けが明確で実現性は高い。スケジュールについても、事前準備から実施、事後報告まで具体的な工程を設定しており、無理のない進行が可能である。また、会場利用や食品提供に関しては関係機関と調整のうえ、食品衛生や安全管理などの法令を遵守して実施する。地域団体や事業者との協力体制も構築可能であり、限られた予算の中で高い効果が期待できる費用対効果の高い事業である。
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または 2 回目の応募で、助成の継続（最大 3 年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

次年度についても食育事業の実施を予定しています。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。